



令和5年度当初予算
令和4年度2月補正予算
の概要

令和5年2月
福岡県



令和5年度当初予算のポイント

令和5年度当初予算と、国の経済対策を最大限活用した令和4年度2月補正予算、令和4年度12月補正予算を合わせた**16か月予算**として、

- ・ **1000億円の人づくり**
- ・ **県内GDP 20兆円への挑戦**
- ・ **安全・安心で活力ある社会づくり** のための施策を展開し、
未来を見据え、「成長・発展」に向けて加速前進 する

過去最大の規模となった
令和4年度当初予算と比べ、
446億円(2.1%)増と**過去最大**

一般会計歳入歳出規模

当初予算	2兆1,975億円	} 2月定例会提案額 2兆2,076億円
2月補正予算	101億円	
12月補正予算 (既決)	697億円	
16か月予算	2兆2,772億円	

財政改革プランの目標達成状況

	財政改革プラン		5年度末見込
	目 標	5年度末見込	
県債残高 (普通会計ベース)	○やむを得ない要因(※)を除いた 令和8年度末の通常債残高を 令和3年度末よりも500億円程度圧縮	令和3年度末に比べ 282億円の減	令和3年度末に比べ 427億円の減
財政調整基金等三基金残高 (財源調整分)	○令和8年度末の財政調整基金等三基金残高を 400億円~500億円確保	537億円	638億円

※ やむを得ない要因：災害復旧・復興対策、国の防災・減災、国土強靱化への対応、国の補正予算対応、減収補填債発行、コロナ感染症対策

一般会計予算のフレーム

(単位：億円、%)

歳出 <16か月予算の概況>

- ◆ **公共事業費** ▲46億円(▲1.7%)
H29九州北部豪雨の改良復旧事業の進捗等
※災害関連予算除きでは101億円(+4.2%)の増
- ◆ **行政施策費** ▲477億円(▲7.8%)
新型コロナウイルス対策の一部終了
・コロナ融資の返済進捗に伴う預託金の減 ▲269億円
・生活福祉資金特例貸付の減 ▲86億円
- ◆ **その他** +169億円(+94.9%)
・出産・子育て安心基金積立金の増 +100億円
・退職手当基金設置費の増 +60億円

歳入 <16か月予算の概況>

- ◆ **県税等** +741億円(+8.2%)
輸入額の増加に伴う地方消費税等の増
- ◆ **国庫支出金** ▲442億円(▲11.8%)
新型コロナウイルス対策の一部終了
・コロナ臨時交付金の減 ▲142億円
・生活福祉資金特例貸付補助金の減 ▲86億円
- ◆ **県債** ▲172億円(▲8.7%)
・**通常債** ▲68億円(▲4.2%)
H29九州北部豪雨の改良復旧事業の進捗等による減
・**臨時財政対策債** ▲104億円(▲27.3%)
地方財政計画において、地方税の増加が見込まれたことに伴う減
- ◆ **財政調整基金等三基金繰入金**
323億円
 - ・R5地方交付税精算分 223億円
 - ・出産・子育て安心基金積立分 100億円
 ※収支均衡を図るための取崩し なし
 [参考] R4当初予算の取崩し 22億円

区 分	16か月予算				16か月予算 (今回提案)				比 較					
	令和3年度 12月補正予算 (経済対策)	令和3年度 2月補正予算 (経済対策)	令和4年度 当初予算	計 D (A+B+C)	令和4年度 12月補正予算 (経済対策)	令和4年度 2月補正予算 (経済対策)	令和5年度 当初予算	計 H (E+F+G)	当初予算		16か月予算			
	A	B	C		E	F	G		増 減	伸 率	増 減	伸 率		
									G-C	G/C	H-D	H/D		
歳 出	人件費			3,863	3,863		0.4	3,784	3,785	▲ 79	98.0	▲ 78	98.0	
	社会保障費	1	3	3,628	3,632			3,683	3,683	56	101.5	51	101.4	
	公債費			2,337	2,337			2,400	2,400	63	102.7	63	102.7	
	公 共 事 業 費	補助事業費	471	2	1,093	1,566	459		1,060	1,519	▲ 33	97.0	▲ 47	97.0
		単独事業費	10	4	763	778	12	1	775	788	11	101.6	10	101.3
		直轄事業負担金	52		191	243	47	2	186	234	▲ 5	97.4	▲ 9	96.3
		計	534	6	2,048	2,587	518	3	2,020	2,542	▲ 27	98.6	▲ 46	98.3
		災害関連予算除く	433	6	1,938	2,377	504	3	1,971	2,478	33	101.7	101	104.2
	災害復旧費	19		112	130			105	105	▲ 7	93.8	▲ 25	80.8	
	行政施策費	315	248	5,569	6,132	179	97	5,381	5,656	▲ 189	96.6	▲ 477	92.2	
	市町村交付金等			3,812	3,812			4,256	4,256	444	111.6	444	111.6	
	その他		17	161	178		1	346	347	185	214.9	169	194.9	
	合 計	868	274	21,529	22,672	697	101	21,975	22,772	446	102.1	101	100.4	
(うち コロナ対策関連予算)	351	256	4,083	4,690	15		3,771	3,786	▲ 312	92.4	▲ 904	80.7		
歳 入	県税等			9,092	9,092			9,833	9,833	741	108.2	741	108.2	
	地方譲与税等			979	979			990	990	11	101.1	11	101.1	
	地方交付税			2,910	2,910	18	20	2,961	2,999	51	101.8	89	103.1	
	国庫支出金	580	269	2,890	3,738	413	78	2,805	3,296	▲ 85	97.1	▲ 442	88.2	
	県債	通常債	275	1	1,708	1,984	257	1	1,553	1,812	▲ 155	90.9	▲ 172	91.3
		通常債	275	1	1,327	1,603	257	1	1,276	1,535	▲ 50	96.2	▲ 68	95.8
		臨時財政対策債			381	381			277	277	▲ 104	72.7	▲ 104	72.7
	財政調整基金等三基金繰入金			188	188			323	323	135	171.8	135	171.8	
	その他	14	5	3,762	3,780	8	1	3,509	3,519	▲ 252	93.3	▲ 261	93.1	
	合 計	868	274	21,529	22,672	697	101	21,975	22,772	446	102.1	101	100.4	

※ 表示単位未満四捨五入の関係で、積上げと合計が一致しない箇所がある。

※ R5地方交付税精算分：令和5年度の普通交付税の算定における精算分（減額分）への充当のために取り崩すもの



出産・子育て施策の充実・強化

子どもを安心して産み育てることができる地域社会づくりを積極的に推進

■ 新基金「出産・子育て安心基金」の設置

約**120**億円の新基金を設置し※、新たな出産・子育て施策を可能とする財源を中長期的に確保

※既存の「こども育成基金(21億円)」+ 100億円積立て(R5当初予算)

「出産・子育て安心基金」対象事業

子どもを安心して産み育てることができる地域社会づくりを主たる目的とし、令和5年度以降に実施する県単独事業であって、当該事業の効果が県民に直接的に及ぶ事業

■ 新基金充当事業（令和5年度の新規事業）

- ・ **病児保育利用料を無償化**（2.0億円）
→ 保護者の利用料金全額を支援
- ・ **不妊治療費の助成**（2.8億円）
→ 出産を希望する夫婦（事実婚を含む）に対し、先進医療による治療費の一部を支援

<主な出産・子育て施策>

※金額は令和5年度当初予算額。●新は新基金充当事業。

出会い・出産	乳幼児期	学童期
●新 AIの相性診断による出会いイベント開催 0.2億円	●新 病児保育利用料の無償化 2.0億円	●新 未来子どもチャレンジ応援プロジェクト 1.6億円
●新 不妊治療費の助成 2.8億円	・ 幼稚園・保育園等の運営支援 385億円	●新 公立美術館等の無料鑑賞機会提供 1.4億円
●新 男性の育児休業促進(企業事例紹介) 0.2億円	・ 幼児教育・保育の無償化 103億円	・ 放課後児童クラブの運営支援 43億円
●新 「出産・子育て安心基金」の設置 121億円	・ 子ども医療費の助成 55億円	・ 子ども医療費の助成(再掲) 55億円(再掲)



1000億円の人づくり

未来を担う人づくり

新 未来子どもチャレンジ応援プロジェクトを始動 1億6,051万8千円

- ・ 青少年アンビシャス運動の成果を発展的に継承し、子どもたちが未来に向けてチャレンジする力を養うため、市町村や企業等、多様な主体による体験活動の提供を支援
- ・ 子どもたちが創意工夫しながら競い、交流を深める「折り紙ヒコーキ大会」の参加団体を拡大し、県大会を開催
- ・ 高校生が被災地等で合宿し、海外からのボランティアや地域の人々と交流する「国際ボランティアワーク」を実施
- ・ 青少年アンビシャス運動を支えてきたアンビシャス広場に対する支援を継続
- ・ (公社)福岡県青少年育成県民会議の体制を強化し、プロジェクトを強力に推進



<子どもたちが未来に向けてチャレンジする力を養う、様々な体験活動>

未来の地域リーダーを育成する取組を拡大 1,465万1千円 (347万3千円)

- ・ 中学生を対象に、未来の地域リーダーを育成する「田川飛翔塾」の取組を32市町村に拡大

新 「福岡から世界へ」高校生応援海外研修プロジェクトを実施 3,827万円

- ・ 世界を舞台に活躍したい高校生を対象に、海外の県人会企業での就業体験やシリコンバレーの企業・大学等で最先端の知識・技術を学ぶ研修を実施

※()内の金額は、令和4年度当初予算額

新 子どもたちに公立美術館等の無料鑑賞機会を提供 1億4,330万2千円

- ・ コロナ禍を越えて小中学生が文化芸術に触れる契機となるよう、令和5年度に限り、県立・市町村立の美術館・博物館等の常設展を無料化

新 次代の人材を育成する教育DXを推進 2億4,884万7千円

- ・ 県立高校において、一人一台のタブレット型パソコンを活用し、指導に長けた教員によるオンライン夏期講習など、学校の枠を越えた教育活動を実施
- ・ 学習データを蓄積・分析するデジタル採点分析システムを導入し、個々の生徒に合わせた指導や授業の改善を実施
- ・ 長期入院や不登校の生徒がオンラインによる遠隔教育を受けられる環境を整備
- ・ ICT支援員を全県立学校に派遣し、ICT技術の支援体制を充実



<PCを活用した授業>

公立中学校における休日の部活動の段階的な地域移行を推進 9,434万9千円

- ・ **【新】** モデル市町村において、部活動を地域スポーツクラブで行うなど、地域移行に向けた実証を実施
- ・ 地域移行の担い手として期待される部活動指導員（外部指導者）の市町村への配置を支援

[12月補正]
505万7千円

県立高校におけるインクルーシブ教育システムを推進 3,639万4千円（2,057万4千円）

- ・ 介助が必要な生徒が十分な教育を受けられるよう、生徒を1対1で介助する特別支援教育支援員を増員

新設する特別支援学校の建設を推進 55億1,605万6千円（17億4,639万2千円）

- ・ 令和6年度開校予定：糸島、令和7年度開校予定：宗像・早良

[12月補正] ○ 農業高校におけるDX人材の育成 2,663万円

経済成長を支える人づくり

新 本県の成長産業等で活躍するテクノロジー人材を育成 5,679万4千円

- ・ パワー半導体等の企業の優れた技術や将来性を学び、技術者を目指す人材を創出する「テクノロジー人材創生塾」を中高生を対象に開催
- ・ 県内外の理工系大学生等を対象に、企業を見学・体験する「オープンカンパニーツアー」を実施
- ・ 県内の半導体、デジタル、自動車、ものづくり企業の魅力を中高生に訴えるイメージ動画をYouTube等で配信
- ・ 企業のPR動画や会社見学会等の情報発信を強化するWebサイトを構築



<企業見学会>

半導体関連企業の人材確保を支援 5,254万6千円

- ・ 高等技術専門校でものづくりを学ぶ訓練生を対象に、オーダーメイド訓練を実施し、即戦力となる人材を育成
- ・ 県内外の理工系学生や転職希望者を対象に、オンライン面接会を開催
- ・ 【新】 県外の理工系学生を県内企業に呼び込むため、参加者に交通費・宿泊費を助成するインターンシップを実施



<半導体装置の基板製作訓練>

新 「福岡県半導体人材リスティングセンター(仮称)」を改組・新設し、人材育成を強化 7,899万6千円

- ・ 半導体人材の育成を強力に推進していくため、「システム開発技術カレッジ」を抜本的に見直し、デジタル産業や自動車産業などの重要技術に精通した人材等を養成する「福岡県半導体人材リスティングセンター(仮称)」を開設(県内中小企業は受講無料)

新 建設業の魅力を発信 2,518万6千円

- ・ 建設業への就職につなげるため、業界団体と連携し、処遇改善の取組や建設業の魅力を発信
- ・ 建設業における女性活躍を推進するため、建設現場で活躍する女性にフォーカスを当てたPR動画の配信や女性技術者向けセミナーを実施

新 次代を担う商店街リーダーを育成 271万1千円

- ・ 商店街が次世代のリーダーとして推薦する若手店主に対し、専門家によるリーダー育成プログラムを実施

新 次代を担う農業人材を育成 1,470万8千円

- ・ 農業大学校で基礎研修を受講した雇用就農希望者を対象に、複数の農業法人で農作業を経験する「トライアル就農」を実施



<農業法人で働く雇用就農者>

いきいきと輝く人づくり

新 IT、建設業、農業など様々な分野における女性活躍を推進 1億135万6千円

【全産業】・ IT、製造業、運輸業などの女性若手経営者等と県が、女性活躍のための課題や必要な取組等について幅広く意見交換する「女性活躍イノベーションワークショップ」を開催

- ・ 働く女性の交流の場「福岡キャリア・カフェ」を提供し、企業等の垣根を越えたネットワークを形成
- ・ 企業発展の鍵となる女性人材の「CXOバンク」※への登録を推進

※九州大学発ベンチャー向け人材バンク

【IT】・ IT分野での就労を希望する女性に対し、スキルに応じた研修から就職、キャリアアップまでパッケージで支援

【建設業】・ 建設業における女性活躍を推進するため、建設現場で活躍する女性にフォーカスを当てたPR動画の配信や女性技術者向けセミナーを実施【P6再掲】

【農業】・ 事業拡大を目指す女性農林漁業者が応援企業を募るベンチャーマーケットを開催するとともに、応援企業との取引に必要な機器導入等を支援



<事業拡大に取り組む女性農林漁業者>

※()内の金額は、令和4年度当初予算額

新 ひとり親など子育て女性の安定就業・収入向上を支援 8,967万7千円

- ・ 子育てなど時間的制約のある求職者が利用しやすいよう、「子育て女性就職支援センター」及び「ひとり親サポートセンター」にSNS相談窓口を開設
- ・ 就職面接時の託児経費を助成し、就職活動を支援
- ・ 子育て中のひとり親女性等に対し、オンラインによるIT研修と雇用のあっせんが一体となったプログラムを実施
- ・ WebデザインなどIT系の訓練を希望する子育て女性に対し、平日夜間や土日に短時間で受講できるコースを追加

障がいのある人などの就業機会を拡大 1億8,436万8千円 (1,934万7千円)

- ・ 障がい者施設の利用者や引きこもり、難病の方などが書籍等のデジタル化業務を行う「福岡モデル」を北九州地域に拡大
- ・ 【新】農福連携による障がい者雇用を促進するため、障がい者が働く植物工場に対し、農業指導員の配置を支援
- ・ 【新】福岡市に加え、北九州市に障がい者テレワークオフィスを設置し、障がい者雇用の環境整備を促進



<書籍のデジタル化>

新 働きたい高齢者の就業機会を拡大 1,104万1千円

- ・ 生涯現役チャレンジセンターが企業を訪問し、概ね65歳以降の在職者の再就職等を支援
- ・ 就業機会の拡大を図るシルバー人材センター等に対し、課題解決を支援するための専門家を派遣

新 大牟田高等技術専門校の建設に着手 1億395万9千円

- ・ 産業人材を育成する大牟田高等技術専門校の移転・建替えに向け、基本設計及び敷地測量、地質調査を実施
- ・ 建替えに合わせ、「プログラム設計科（2年コース）」「介護サービス科」を設置

[12月補正] ○ 飲食店におけるマネジメント人材の育成 2,890万2千円

社会を支える人づくり

新 介護サービス事業所におけるチームケアの取組を推進 811万8千円

- ・ 業務分割により短時間雇用人材を活用し、介護職員の負担を軽減する「チームケア」の導入を進めるため、研修動画を制作



新 働きやすい介護職場の認証制度を創設 1,840万4千円

- ・ 介護人材の確保・定着を図るため、育児休業制度充実等の労働環境改善や職員の人材育成に取り組む介護サービス事業所を認証・公表する制度を創設

待機児童の解消を推進 2,814万8千円 (1,978万6千円)

- ・ 保育士・保育所支援センターに「人材確保コーディネーター」を追加配置し、短時間雇用を希望する保育士の掘り起こし、保育所とのマッチングを実施
- ・ 【新】保育士不足で定員割れしている保育所等に対し、非正規雇用の保育士確保を支援

新 災害ボランティアの受入れを迅速・効率化 238万3千円

- ・ Web上で災害ボランティアの事前登録や被災者ニーズとのマッチングが可能なシステムを構築



新 消防団への加入を促進 1,375万円

- ・ 消防団員の勧誘活動強化に取り組む市町村を支援

新 地域伝統行事お助け隊を創設 243万7千円

- ・ 担い手不足に悩む祭りなどの地域伝統行事の継続を支援するため、運営スタッフ等として参加できる方を登録し、地域に派遣



県内GDP20兆円への挑戦

グリーンデバイス開発生産拠点の形成

グリーンデバイス開発・生産拠点構想を推進 1億3,139万4千円 (3億937万9千円)

地元半導体企業の取引拡大

- ・ **【新】** 半導体関連企業を訪問し、ビジネスマッチングや技術力向上の助言を行うアドバイザーを設置
- ・ **【新】** 半導体関連企業による国内外の大企業への出張技術提案会を開催
- ・ **【新】** 台湾の大型半導体展示会への出展を支援

獲得競争が激化する半導体人材の育成・確保

- ・ **【新】** 「福岡県半導体人材リスキリングセンター（仮称）」を改組・新設し、人材育成を強化【P6再掲】



<半導体展示会>

北部九州自動車産業グリーン先進拠点の推進

北部九州自動車産業グリーン先進拠点プロジェクトを推進 7,117万6千円 (6,146万8千円)

世界に選ばれる電動車開発・生産拠点の形成

[2月補正] 2,012万6千円

- ・ **【新】** 電動化分野への参入を進めるため、電動車の分解部品の構造について解説する「出前電動化道場」を実施

CASEに対応したサプライヤーの集積、工場や輸送分野における脱炭素化の実現

- ・ **【新】** 県内サプライヤーが行う自動化や電動化などCASE※ 関連の新製品開発を支援

先進的なクルマ・モビリティの実証の推進

- ・ **【新】** 「福岡モーターショー2023」において、自動運転モビリティやFCトラックの展示・体験イベントを開催



<電動化道場>

※ 自動化や電動化などの次世代技術やサービスを意味する造語

※()内の金額は、令和4年度当初予算額

水素グリーン成長戦略の推進

水素グリーン成長戦略を推進 2億7,878万4千円（9,616万6千円）

水素製造のイノベーション

- ・ **【新】** 大規模グリーン水素製造実証等の国プロジェクトへの提案を実施

水素利用の拡大

- ・ FCトラック先進拠点の構築を目指し、普及に不可欠な保守点検拠点整備を推進するため、CJPT※と連携してFCトラック導入支援やメンテナンス人材の育成を実施
- ・ **【新】** 今年開業予定の日田彦山線BRTにおけるFCバスの運行実証を支援

水素関連産業の集積

- ・ **【新】** グリーン水素製造の拠点化が見込まれるニューサウスウェールズ州に産学官の訪問団を派遣し、将来的な水素受入を目指した関係を構築
- ・ **【新】** 国による水素供給インフラ整備支援の拠点採択に向けたロードマップ策定のための調査を実施



＜水素を燃料とするFCEトラック＞

※ CJPT（Commercial Japan Partnership Technologies株式会社）
商用車へのFCモビリティをはじめとする電動車導入などを手掛ける合弁会社
（トヨタ自動車、いすゞ自動車等で構成）

中小企業の振興

中小企業向け融資制度を充実 融資総枠1兆1,006億円（うち新規融資枠3,285億円）

- ・ 新型コロナウイルス関連融資等からの借換えや新たな資金需要に対応する「**経営改善借換資金**」を確保

※()内の金額は、令和4年度当初予算額

中小企業のデジタル化を支援 [2月補正] 1億8,688万2千円 [12月補正] 7,012万4千円

- ・ インボイス対応も見据えたデジタル化による生産性向上を支援するため、国の補助率を高めし、事業者負担を軽減

新 事業承継の実現に向けた取組を支援 2,154万8千円

- ・ 事業承継計画に基づく、事業承継前の販路拡大や新商品開発等の経営改善につながる取組を支援
- ・ 事業譲渡を希望する事業者がM & A 仲介業者に支払う手数料を支援

デザインを活用した商品の販売を促進 2,516万7千円 (2,900万円)

- ・ **【新】** 福岡デザインアワードを開催し、受賞商品を博多駅デジタルサイネージ等で周知する「**福岡県産業デザインウィーク**」を実施
- ・ **【新】** アワード受賞商品のクラウドファンディングへの出店を支援



<福岡デザインアワード大賞受賞商品>

新 県産品の販路拡大を強化 408万8千円

- ・ 首都圏等で開催する物産展において、新たな名物商品創出のためのテスト販売コーナーを設置

※ 拡大するネット販売に対応するため、オンライン店舗「**福岡県よかもんショップ**」の運営を支援 1,716万7千円

新 特産民芸品を振興 508万3千円

- ・ 県知事指定特産民芸品の販路拡大のため、その製造事業者が取り組む新商品開発等を支援
- ・ 県知事指定特産民芸品の認知度向上や売上拡大を図るため、ロゴマークを作成



<県知事指定特産民芸品(大川組子)>

[12月補正] ○ 経営革新を推進 2億606万6千円

○ 新製品開発等を支援 1億1,184万2千円

農林水産業の振興

新 県産農産物のブランド力を強化 5,704万7千円

- ・ 冷蔵貯蔵に適した「秋王」の自動選果技術、「とよみつひめ」のカビ発生抑制技術を実証
- ・ 量子ドットを活用した最先端技術による園芸作物の収量拡大や品質向上を実証
- ・ 果樹産地に気象観測スポットを設置し、気象条件に応じた栽培を行うための果樹栽培支援アプリを開発
- ・ 農林業総合試験場の研究部門を集約し、施設園芸における先端栽培技術の開発拠点整備に向け、基本構想を策定



<秋王>

新 「博多和牛」や県産酒等の輸出を拡大 4,418万円

- ・ 「博多和牛」の全国和牛能力共進会での優等賞入賞を契機として、香港への試験輸出やタイでのフェアを開催
- ・ 米国の日本食レストランにおいて、県産酒と八女茶・「福岡有明のり」の一体的なプロモーションを実施
- ・ ベトナムハノイ市との友好提携15周年を契機に、現地量販店で県産みかんのフェアを開催

県産農林水産物の販売・消費を拡大 1億8,768万8千円（1億417万7千円）

- ・ **【新】** 卸事業者とその取引先の外食事業者・百貨店への販売促進活動を強化し、県の事業者向け商談サイト「OISA」への登録を推進
- ・ **【新】** 「福岡の八女茶」発祥600年を機に、県内外の茶商において、特設コーナー設置や試飲販売等のPRを実施
- ・ **【新】** 全国の産地が集い、生産技術の向上と消費の拡大を目的とする「全国お茶まつり福岡大会」を開催
- ・ **【新】** 博多駅や県内取扱店舗で「博多和牛」フェアを開催
- ・ **【新】** 「おもちゃ美術館」と連携して製作した木製玩具の導入やデザイン性の高い家具の展示販売を支援



<大型商業施設に設置された木製品>

[12月補正]	○ 高性能機械・設備導入による生産性向上	30億7,016万1千円
	○ 八女茶やマダイなどの輸出拡大	10億1,308万3千円
	○ 麦・大豆の生産体制強化	1億2,600万円

農林水産業のデジタル化を推進 4,843万4千円 (259万5千円)

- ・【新】青果物の首都圏への安定供給を図るため、産地から北九州青果(株)が整備するストックポイント※を經由して、東京の青果市場までの集出荷情報をリアルタイムで共有するシステムの構築を支援

※ 地域の青果物を1か所に集約し、東京にまとめて輸送する共同物流拠点施設

- ・【新】海況予測システムによる水温・潮流等の予測期間を3日から7日に延長し、筑前海における計画的な漁船漁業を支援
- ・【新】果樹産地に気象観測スポットを設置し、気象条件に応じた栽培を行うための果樹栽培支援アプリを開発【P13再掲】



＜気象観測スポット＞

園芸農業の競争力を強化 14億5,350万円 (14億5,350万円)

- ・ 活力ある高収益型園芸産地の育成に必要な断熱効果の高い省力栽培温室や高性能乗用草刈機などの施設・機械の導入を支援

水田農業の競争力を強化 2億4,045万2千円 (2億1,791万6千円)

- ・ 農作業集約化及び生産規模拡大に取り組む担い手が行う機械の導入を支援
- ・【新】大豆新品種「ちくしB5号」への全面転換に向けた種子安定供給体制を整備
- ・【新】「夢つくし」「元気つくし」「ラー麦」などの種子生産に必要な種子乾燥機の導入を支援

畜産業の競争力を強化 3,382万6千円 [2月補正] 1億3,788万7千円 (4,539万8千円)

- ・ 輸入価格が高騰する家畜飼料の自給率向上を図るため、生産・利用拡大に必要な機械導入を支援
- ・【新】良質な生乳確保のため、乳量が多く生産寿命が長い遺伝的に優れた乳牛の改良を支援



純国産の貴重な
「福岡有明あさり」

新 有明海の漁業生産を支援 7,344万8千円 [2月補正] 2億円

- ・ 赤潮被害からノリ養殖の生産を守るため、植物プランクトンを捕食する二枚貝類の定着を支援
- ・ 国産の天然アサリである「福岡有明あさり」のトレーサビリティ証明により消費者が信頼して購入できる「福岡モデル」を実施
- ・ 適切な養殖管理により高品質なノリを生産するため、3日先までの有明海の水温や潮位が予測できるシステムを開発

※()内の金額は、令和4年度当初予算額

観光産業の振興

令和6年春の福岡・大分デスティネーションキャンペーン※に向けた取組を推進 6億3,525万4千円

- ・ **【新】** 公式ガイドブックの制作やJR・旅行会社とのタイアップキャンペーンを実施
- ・ **【新】** 市町村が実施するプロジェクションマッピングを活用したイルミネーションショーなど特別イベントの開催を支援
- ・ **【新】** 複数市町村が連携して実施する観光素材の開発やプロモーションを支援
- ・ **【新】** 国内外の観光客に対し、ホテルにおける八女茶のティーバッグ提供や県営公園内施設等における県産花きの飾花・配布



至福の旅!大吉の旅!福岡・大分
福岡・大分デスティネーションキャンペーン

※ JR6社と地元自治体等が共同で実施する国内最大級の観光誘客キャンペーン

国内観光需要を拡大 3億6,318万6千円 [2月補正] 6億1,655万円 (1,384万3千円)

[12月補正]
66億9,320万円

- ・ **【新】** 閑散期の平日に観光客を呼び込むため、旅行代金等の一部を助成
[助成内容] 旅行代金・宿泊代金の最大20% (上限3千円) [目標人数] 9万人
- ・ 本県を行程に組み込んだ修学旅行を実施する県内外の学校に対しバス代の一部を助成

インバウンド観光を再興 9,575万7千円 (5,448万6千円)

- ・ **【新】** 欧米豪を中心とする富裕層を対象とした高付加価値・高単価な旅行商品を造成
- ・ **【新】** 関西圏を訪問した外国人観光客を呼び込むため、新幹線を活用した荷物の輸送実証を実施
※ JR西日本の外国人向け企画乗車券と合わせて周知し、利用を促進



新 ユニバーサルツーリズムを推進 1,828万6千円

- ・ 年齢や障がいの有無に関わらず誰もが安心して県内各地を旅行できるよう、車椅子・ベビーカーの貸出実証を実施



<車椅子による観光>

※()内の金額は、令和4年度当初予算額

ベンチャー支援

新 ベンチャー創出の拠点化を推進 8,216万4千円

- ・ベンチャー創出拠点の形成を目指し、CIC Tokyo内に県職員が誘致活動を行うための拠点を整備
- ・在日米国大使館の協力を得て、CICの本拠地であるボストンへ訪問団を派遣し、ベンチャーキャピタル等を誘致
- ・ベンチャーと国の支援担当者との意見交換などを行う「ベンチャーカフェ・フクオカ」を通じ、福岡発イノベーション創出コミュニティを構築
- ・韓国、タイ等の海外ベンチャー誘致に特化した「グローバル・ビッグマーケット」を開催
- ・九州大学との連携による新プロジェクト創出のため、「福岡県・九州大学イノベーションカンファレンス」を開催

グローバルベンチャーを創出 3,667万5千円 (2,793万3千円)

- ・ユニコーン企業を目指すベンチャーの資金調達に特化した成長支援プログラムを実施
- ・【新】企業発展の鍵となる女性人材の「CXOバンク」※への登録を推進【P7再掲】 ※九州大学発ベンチャー向け人材バンク

アトツギベンチャーを創出 2,668万9千円 (2,010万2千円)

- ・【新】先輩アトツギによる講演や専門家による家業の棚卸などを行う「アトツギプログラム」を実施
- ・家業の経営資源を活用したアトツギベンチャーの新製品開発等を支援

先端技術産業（バイオ、宇宙ビジネス、ブロックチェーン等）の振興

福岡バイオコミュニティ形成を推進 2億2,098万6千円 (2億6,275万7千円)

- ・【新】久留米大学と連携し、バイオベンチャーの希少疾病医薬品（オーファンドラッグ）開発を支援する体制を構築
- ・【新】バイオベンチャーの人材確保支援のため、久留米リサーチパークにアドバイザーを設置

宇宙ビジネスを振興 5,848万2千円 (4,679万8千円)

- ・【新】 第34回「宇宙技術および科学の国際シンポジウム (ISTS)」福岡・久留米大会において、地元機運醸成のための啓発イベントや県内企業をPRする宇宙展示会を開催
- ・【新】 IT企業による衛星データを活用した革新的サービス開発を支援
- ・【新】 食品関連企業による九州初となる宇宙日本食の認証取得を支援



<ISTSプレイベント>

ブロックチェーンを活用したリーディングモデルを創出 4,424万8千円 (1,000万円)

- ・【新】 電力トレーサビリティ証明による温室効果ガス排出量取引の「福岡・飯塚モデル」構築に向けた実証を実施
- ・【新】 国産の天然アサリである「福岡有明あさり」のトレーサビリティ証明により消費者が信頼して購入できる「福岡モデル」を実施【P14再掲】

メディカル・ヘルスケア産業を振興 3,765万4千円 [2月補正] 2,169万2千円 (2,858万円)

- ・【新】 AIを活用したプログラム医療機器やリハビリ用ロボット装具など革新的な医療機器の開発を支援
- ・【新】 県内医療機器関連企業による大手医療機器メーカーへの出張展示商談会を開催
- ・【新】 医療機器製品の迅速な実用化を図るため、専門家による保険適用に関する相談支援を実施

GXの推進

洋上風力発電の導入と産業集積を促進 3,851万5千円 (2,183万3千円)

- ・【新】 九州大学と連携し、構造設計や環境評価などを行う技術者を育成
- ・【新】 県内企業の参入可能分野を明確にするため、発電事業者等が必要とする技術やサプライチェーンを把握する調査を実施

新 「福岡未来づくり住宅」を普及 2,230万円

- ・ 国の省エネ基準 (ZEH※) を上回る省エネ住宅の普及を図るため、モデル団地における住宅の断熱性能向上と電力販売契約 (PPA) による太陽光発電設備の導入を支援

※ ゼッチ (net Zero Energy House)
太陽光発電や省エネ設備の導入などにより、エネルギー収支をゼロ以下にする住宅

新 太陽光パネルのリユースを促進 1,428万7千円

- ・ 太陽光パネルのリユースを促進するため、パネル性能の信頼性や事業採算性を検証するモデル事業を実施

※()内の金額は、令和4年度当初予算額

新 県有施設・公用車の脱炭素化を加速 5億4,722万7千円

- ・ 太陽光発電設備の設置が可能な県有施設（111施設※）について、令和7年度までに計画的に整備（令和5年度は設計・施工23施設）
※9施設については他工事と合わせて整備するため令和9年度までに整備
- ・ 電動車への切り替えが可能な公用車（792台）について、令和12年度までに計画的に更新（令和5年度は93台）

戦略的な企業誘致の推進

国際金融機能を誘致 8,578万3千円（8,331万9千円）

- ・ **【新】** 国際金融アドバイザー等の活用により、本県に招へいした金融機関と地元企業のビジネスマッチングを実施
- ・ **【新】** ベンチャーキャピタル等の誘致を目的としたボストン訪問団派遣の機会に合わせ、ボストンの金融機関に対するプロモーション等を実施

ベンチャー創出の拠点化を推進 8,216万4千円【P16再掲】

グリーンデバイス開発・生産拠点構想を推進 1億3,139万4千円【P10再掲】

企業誘致の受け皿となる産業用地を整備 26億7,416万1千円（14億7,854万円）

- ・ 苅田港新松山地区において、工業用地造成工事を実施（第3期 約30ha）
- ・ 市町村が実施する産業団地の整備に向けた調査やアドバイザー活用を支援

【工業用地造成事業会計】 3億7,732万2千円（5億2,365万4千円）

- ・ 大規模データセンター等誘致の受け皿となる直方・鞍手工業用地造成のための用地取得等を実施



<成長が期待される
グリーンデバイス・半導体>



<苅田港新松山地区>

※()内の金額は、令和4年度当初予算額

将来に向けた社会資本整備

基幹的道路を整備 167億8,498万1千円（161億1,742万1千円） [12月補正] 54億8,625万円

- ・ 産業振興の基盤となる基幹的道路網を整備（国道322号嘉麻バイパス、筑紫野古賀線（4車線化）ほか）

下関北九州道路の早期整備に向けた調査等を実施 358万5千円（771万3千円）

福岡・北九州高速道路を整備 18億3,000万円（5億4,000万円）

- ・ 福岡都市高速3号線（空港線）延伸工事を実施
- ・ **【新】** 北九州都市高速5号線（戸畑～枝光）新設工事等を実施

北九州空港の利用を促進 7億2,345万4千円（6億6,236万1千円）

- ・ 北九州空港の貨物拠点化を推進するため、貨物便の運航を支援
- ・ 北九州空港のネットワーク再構築を推進するため、旅客便の運航を支援
- ・ **【新】** 福北リムジンバスの利便性向上のため、バスに接続する乗合タクシーの運行に向けた実証を実施
- ・ **【新】** 北九州空港の広域アクセス向上のため、定額タクシーの運行を支援



<国道322号嘉麻バイパス(トンネル)>

三池港コンテナ航路を誘致 5,806万8千円（4,044万9千円）

- ・ **【新】** 新たな国際コンテナ定期航路を開設した船社等に対する助成



<三池港>



安全・安心で活力ある社会づくり

ワンヘルスの推進

新 国際機関等との連携を推進 6,080万3千円

- ・ 「FAVAワンヘルス福岡オフィス」が行うワンヘルス推進活動を支援
- ・ 国際機関と連携し、世界から注目度が高く、発信力のあるワンヘルス国際フォーラムを開催
- ・ 世界を代表するワンヘルスに関する国際会議の誘致活動を展開



<福岡県”One Health”国際フォーラム>

ワンヘルスの啓発を強化 1億104万8千円 (5,485万3千円)

- ・ **【新】** ワンヘルスの実践活動を普及する「ワンヘルスマスター」を育成
- ・ **【新】** 筑後地域に加え、福岡地域において「ワンヘルスフェスティバル」を開催
- ・ **【新】** ワンヘルスの森等の啓発施設を整備する市町村への支援
- ・ **【新】** ワンヘルス宣言事業者向け交流会を実施
- ・ **【新】** 国内初の屋外ワンヘルス体験学習・研究ゾーンの整備に向け、基本設計を実施
- ・ **【新】** ワンヘルス推進を担う人材育成のため、ハワイ州への訪問団派遣を実施
- ・ 馬や犬とのふれあいを通じてアニマルセラピーを体験するほか、人と動物の健康や環境について学ぶ「ワンヘルスパーク」を運営



<ワンヘルスパーク>

新 ワンヘルス認証農林水産物を推進 8,441万4千円

- ・ ワンヘルス認証農林水産物の認知度向上と販売拡大を図るため、テレビCMでのPR、大手量販店での販売促進フェア等を実施

新 「ワンヘルスの森 四王寺」の受入環境を整備 5,446万4千円

- ・ 修学旅行等多くの来訪者に対応できるトイレの整備、紹介動画の制作やワンヘルスガイドの派遣を実施

動物保健衛生所の整備を推進 5,460万6千円 (2,571万円)

- ・ 家畜、野生動物、愛玩動物の保健衛生を一元的に取り組む動物保健衛生所の設置に向け、基本設計等を実施

新型コロナウイルス感染症対策

高齢者施設等の感染防止対策を支援 2億1,819万円 (11億4,152万9千円)

- ・ 高齢者施設及び障がい者施設に勤務する職員等に対する検査を実施

[12月補正] ○ 学校等の感染防止対策（消毒液等）の支援 13億9,638万7千円

ワクチン接種を円滑に実施 7億1,250万2千円 (23億3,936万8千円)

- ・ ワクチン接種促進のため、接種回数や人員を増やした医療機関に対し、通常の接種単価に上乗せ支給を実施
- ・ 中小企業や大学等が職域接種に使用する会場の設置・運営費を支援
- ・ 医学的な知見に基づく専門的な相談窓口を設置

入院病床、宿泊療養施設を確保 614億9,743万3千円（650億4,720万4千円）

- ・ 新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる入院病床を確保（2,061床）
- ・ 軽症、無症状の患者を受け入れる宿泊療養施設を確保（10施設、2,000室程度）

医療設備の充実を支援 37億9,321万6千円（39億8,985万円）

- ・ 入院医療機関が行う医療設備（人工呼吸器、体外式膜型人工肺(ECMO)、簡易陰圧装置等）の整備を支援

物価・エネルギー高騰対策

材料費高騰に伴う給食費の保護者負担を軽減 [2月補正] 11億8,751万3千円

- ・ 県立学校、私立学校・保育所等における給食の食材費上昇分を支援

地域商品券による地域経済の活性化 [2月補正] 38億3,589万4千円 [12月補正] 18億2,781万9千円

- ・ 商工会議所・商工会や商店街が、市町村と連携して実施するプレミアム付き地域商品券の発行
- ・ 発行団体に対し、物価高騰による事務費上昇分を上乗せ支援
- ・ 全ての発行団体におけるキャッシュレス商品券の発行を促進し、デジタル化による地域経済の活性化を推進
〔発行規模：360億円 ※過去最大規模、うちキャッシュレス202億円、プレミアム率：20%以上〕

新 出荷資材高騰の影響を受ける農林漁業者を支援 [2月補正] 14億408万4千円

- ・ 出荷資材の低減に取り組む農林漁業者に対し、出荷資材上昇分の一部を助成
- ・ ワンヘルス認証を取得した農林漁業者は助成単価を上乗せ

災害からの復旧・復興、防災・減災、県土強靱化の推進

被災した道路や河川などの復旧を加速化 97億3,050万8千円（146億8,144万円）

- ・ 災害復旧と併せて行う河川の改良工事等を実施
- ・ 農地・農業用施設、林道等を復旧

日田彦山線沿線の地域振興を支援 3億2,215万8千円（5億5,318万2千円）

- ・ 東峰村、添田町が地域の実情に合わせて実施する、地域振興の取組を支援
- ・ **【新】** 芸術家による創作活動を通じた地域住民との交流イベントを実施
- ・ BRTなどの利便性の向上や安全安心の確保を図るための道路拡幅等を実施

流域治水を推進 2億2,875万8千円（7,669万1千円）

- ・ **【新】** 市町村や事業者が行う、ため池やグラウンド等の雨水貯留浸透施設の整備を支援
- ・ **【新】** 市町村や土地改良区が行う、水田の雨水貯留機能を向上させた「田んぼダム」の導入を支援



<雨水貯留浸透施設イメージ>

緊急輸送道路等を整備 197億93万5千円（205億8,582万1千円） [12月補正] 120億8,193万円

- ・ 災害時の応急活動や緊急車両の通行を確保するため、緊急輸送道路整備、道路法面の崩壊・落石対策等を実施

ため池等の安全対策を実施 48億283万5千円（46億4,984万5千円）

- ・ ため池、農業用排水施設等を整備 [12月補正] 44億2,869万9千円

洪水・土砂災害防止、港湾の老朽化対策等を推進 250億9,479万3千円（245億9,577万8千円）

- ・ 河川の護岸、砂防施設、地すべり防止施設、港湾施設等を整備 [12月補正] 208億3,566万5千円

新 ドローンによる公共土木施設の点検を推進 2,200万円

- ・ 事前に飛行ルートを設定することで目視できない場所でも自律飛行が可能となる高機能ドローン及びAI分析ソフトによる土木施設点検の実証を実施

新 災害ボランティアの受入れを迅速・効率化 238万3千円【P9再掲】

- ・ Web上で災害ボランティアの事前登録や被災者ニーズとのマッチングが可能なシステムを構築

快適な環境の維持、保全

プラスチックごみ削減の啓発を強化 754万9千円（196万7千円）

- ・ **【新】** 事業者や学生団体と連携した消費者参加型の啓発イベントを実施
- ・ **【新】** プラスチックごみ削減の取組を発信するプラごみ削減応援サイトを構築

海岸クリーンアップ活動を実施 537万6千円（277万1千円）

- ・ **【新】** 九州山口各県と連携し、佐賀県で実施する海岸清掃イベントに高校生を派遣
- ・ **【新】** 佐賀県、長崎県、山口県と連携した筑前海沿岸一斉清掃イベントを実施

新 特定外来生物の防除体制を整備 882万4千円

- ・ 特定外来生物による被害防止のため、本県に定着している特定外来生物の防除実施計画を策定
- ・ 防除の担い手育成のための講習会を実施

新 産業廃棄物の監視体制を強化 3,653万2千円

- ・ 産業廃棄物処理施設の立入検査に活用するため、最新型赤外線カメラを搭載したドローン等を導入

治安の確保

飲酒運転撲滅対策を強化 3,818万8千円 (3,701万3千円)

- ・ **【新】** 飲酒運転検挙後の悲惨さを訴えるVRコンテンツを活用し、交通安全教育を徹底
- ・ **【新】** 飲酒運転通報義務を周知するため、NPOなどの多様な主体と連携した啓発を実施

新 自転車の安全利用とヘルメット着用を促進 1,271万6千円

- ・ 令和5年4月からのヘルメット着用の努力義務化を契機として、啓発動画を活用した交通安全教育の徹底を図るとともに、交通指導・取締りを強化

ニセ電話詐欺対策を強化 3,900万8千円 (312万6千円)

- ・ **【新】** 電話事業者の防犯機能サービスを活用したニセ電話詐欺防止対策を実施

新 ストーカー対策を強化 3,201万3千円

- ・ ストーカー被害者を保護するため、被害者宅への訪問者を検知し、警察に通知するスコープカメラを追加配備

サイバー犯罪対策を強化 1,372万1千円 (880万円)

- ・ **【新】** サイバー犯罪への対処能力を強化するため、コンピュータ上の履歴や記録等の解析手法に関する研修を実施

新 犯罪被害者に見舞金を支給 270万円

- ・ 犯罪被害直後の医療費などの経済的負担を軽減するため、犯罪被害者又はその遺族に見舞金を支給



自転車のヘルメット着用が
努力義務化されます
(令和5年4月1日～)

子どもを安心して産み育てることができる地域社会づくり

新 「出産・子育て安心基金」を設置

- ・ 子どもを安心して産み育てることができる地域社会づくりを積極的に推進するため、約120億円の新たな基金を設置
- ・ 不妊治療や病児保育の自己負担の支援など、新たな県単独の出産・子育て施策に活用

出会い・結婚を応援 6,531万1千円 (3,792万1千円)

- ・ **【新】** AIが相性診断したグループ間による出会いイベントを開催
- ・ 「出会い応援団」の登録拡大、企業・団体間のイベント開催を支援

新 不妊治療費を助成 2億8,320万3千円

- ・ 不妊治療を受けている夫婦（事実婚を含む）に対し、保険診療と併用可能な先進医療の費用の一部を助成

新 男性の育児休業取得を促進 2,476万5千円

- ・ 仕事と出産・子育てを両立できる職場環境を整備するため、育休を取得しやすい職場の雰囲気づくりや育休期間中の業務体制に関する企業の先進事例をテレビ番組やYouTube等で紹介

新 病児保育の利用料を無償化 1億9,863万8千円

- ・ 政令市を含む県内全域で実施（補助額：利用料の全額、上限：2千円/日）

待機児童の解消を推進 2,814万8千円 (1,978万6千円) 【P9再掲】

- ・ 保育士・保育所支援センターに「人材確保コーディネーター」を追加配置し、短時間雇用を希望する保育士の掘り起こし、保育所とのマッチングを実施
- ・ **【新】** 保育士不足で定員割れしている保育所等に対し、非正規雇用の保育士確保を支援

新 児童相談所の機能を強化 5,916万7千円

- ・ 全ての児童相談所職員（児童福祉司・児童心理司）が外出先でも迅速な判断ができるよう、専用システムを搭載したモバイル端末を配備
- ・ 児童福祉司等の相談援助技術向上のため、研修体系・内容を見直すとともに、研修後の効果測定を実施
- ・ 一時保護、施設、里親における処遇について、子どもの意見表明を支援する「意見表明支援員」を養成

新 ヤングケアラー支援体制を構築 1,068万9千円

- ・ 市町村の体制構築や人材育成を支援するコーディネーターをモデル市町村に配置
- ・ モデル市町村での支援事例などを周知するため、コーディネーターが市町村や関係機関を対象とした研修を実施

新 こども食堂と地域のネットワーク化を支援 1,277万6千円

- ・ こども食堂が地域で安定して活動できるよう、企業や市町村等との協力関係の構築を支援
- ・ クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、こども食堂の活動を支援



<こども食堂>

新 障がい児や医療的ケア児への支援 2億157万4千円

- ・ 保育士等に対し、障がい児受入れのための実践的な保育技術研修を実施
- ・ 思春期の発達障がい児等に対し、福岡県障がい者リハビリテーションセンターによる訪問相談を実施
- ・ 医療的ケア児支援センターに専門相談員を配置し、保育所や小中学校での保育・教育を支援
- ・ 医療的ケア児の在宅移行訓練や一時預かり等を行う医療機関の運営を支援
- ・ 保育所・小中学校において医療的ケア児の保護者付添いを代行する看護師の派遣を支援

新 県営公園にインクルーシブ遊具を設置 2,500万円

- ・ 障がいの有無に関わらず全ての子どもたちが一緒に遊べる遊具広場、バリアフリーの園路などを大濠公園及び筑豊緑地に整備（3か年で6県営公園に整備）



障がいの有無に関わらず、
一緒に遊ぶことができる
「インクルーシブ遊具」

[12月補正] ○ 出産・育児支援金等の支給 65億8,512万9千円

ジェンダー平等の推進

新 IT、建設業、農業など様々な分野における女性活躍を推進 1億135万6千円【P7再掲】

【全産業】・ IT、製造業、運輸業などの女性若手経営者等と県が、女性活躍のための課題や必要な取組等について幅広く意見交換する「女性活躍イノベーションワークショップ」を開催

- ・ 働く女性の交流の場「福岡キャリア・カフェ」を提供し、企業等の垣根を越えたネットワークを形成
- ・ 企業発展の鍵となる女性人材の「CXOバンク」※への登録を推進

※ 九州大学発ベンチャー向け人材バンク



【IT】・ IT分野での就労を希望する女性に対し、スキルに応じた研修から就職、キャリアアップまでパッケージで支援

【建設業】・ 建設業における女性活躍を推進するため、建設現場で活躍する女性にフォーカスを当てたPR動画の配信や女性技術者向けセミナーを実施

【農業】・ 事業拡大を目指す女性農林漁業者が応援企業を募るベンチャーマーケットを開催するとともに、応援企業との取引に必要な機器導入等を支援

新 ひとり親など子育て女性の安定就業・収入向上を支援 8,967万7千円【P8再掲】

パートナーシップ宣誓制度を推進 795万4千円（623万6千円）

- ・ 【新】 パートナーシップ宣誓制度で利用可能なサービスを拡大するため、民間企業向けセミナー等を開催
- ・ 【新】 LGBT関連団体による電話相談窓口を設置し、きめ細かな相談支援を実施

誰一人取り残さない支え

新 「福岡県循環器病総合支援センター」を開設 1,613万4千円

- ・ 看護師による循環器病患者・家族のための相談支援窓口を「九州医療センター」に開設
- ・ 循環器病に関する県民公開講座や医療機関等を対象とした研修会を開催

新 介護サービス事業所におけるチームケアの取組を推進 811万8千円【P9再掲】

- ・ 業務分割により短時間雇用人材を活用し、介護職員の負担を軽減する「チームケア」の導入を進めるため、研修動画を制作

新 働きやすい介護職場の認証制度を創設 1,840万4千円【P9再掲】

- ・ 介護人材の確保・定着を図るため、育児休業制度充実等の労働環境改善や職員の人材育成に取り組む介護サービス事業所を認証・公表する制度を創設

新 住宅確保要配慮者の住まいを確保 848万4千円

- ・ 高齢者や障がいのある人などの入居を拒まないセーフティネット住宅の登録を促進するため、見守りサービス等を行う居住支援法人と宅建事業者とのマッチングを実施

新 就職氷河期世代の就職を支援 842万3千円

- ・ 長期無業者の就業体験への参加を促進するため、就業体験受入企業を開拓するほか、参加者の交通費負担を軽減する手当を支給

新 メタバースを活用した就労支援を実施 3,076万7千円

- ・ 長期無業者の就労に向け、アバターを活用した個別相談やコミュニケーション訓練等を実施

新 メタバースを活用した居場所づくりを実施 3,232万8千円

- ・ 孤独・孤立の気持ちを抱える若年層に対し、アバターを活用した交流の場で、精神保健福祉士がレクリエーション等を実施



＜メタバース空間での交流＞

「福岡県手話言語条例」に基づき、取組を推進 2,093万4千円（141万9千円）

- ・ **【新】** 乳幼児期から読み聞かせや遊びを通して親子等で手話を学ぶ教室を開催
- ・ **【新】** 保育所等の職員に対し、言語聴覚士等がろう児との関わり方に係る個別巡回相談を実施
- ・ **【新】** 手話通訳士やより高度な手話技術を持つ同時手話通訳者等を養成

DV専門相談窓口を強化 608万5千円（246万4千円）

- ・ **【新】** 暴力をやめたいと悩むDV加害者専用の電話相談窓口を追加

スポーツの振興、健康づくりの推進

新 「世界水泳選手権福岡大会」を契機としたスポーツ振興 1,243万8千円 [2月補正] 18億円

- ・ 「世界水泳選手権2023福岡大会」及び「世界マスターズ水泳選手権2023九州大会」の開催を支援 [2月補正15億円]
- ・ 飛込競技会場となる県立総合プールの改修工事を実施 [2月補正3億円(宝くじ活用分)]
- ・ 来場者等に本県のスポーツ施策や農林水産物、観光地等をPRするとともに、中学生を観戦に招待

「ツール・ド・九州2023」を開催 2億7,576万3千円 (4,788万円)

- ・ 福岡、熊本、大分をつなぐ国際自転車競技連合認定の国際サイクルロードレースを開催

フクオカ・パラスター・プロジェクト(F-STAR)を実施 3,062万5千円 (1,247万8千円)

- ・ 世界で活躍するパラアスリートの発掘・育成を本格実施



<パラアスリート発掘会>

公立中学校における休日の部活動の段階的な地域移行を推進 9,434万9千円 [P5再掲]

- ・ **【新】** モデル市町村において、部活動を地域スポーツクラブで行うなど、地域移行に向けた実証を実施
- ・ 地域移行の担い手として期待される部活動指導員(外部指導者)の市町村への配置を支援

新 県営公園にアーバンスポーツ施設を整備 3億8,000万円

- ・ アーバンスポーツの人気を捉え、BMXの拠点として筑後広域公園にBMXパークを整備
- ・ 筑豊緑地において、東京オリンピックで競われたスポーツライミング「ボルダリング」「リード」「スピード」の三種目を備えた県内唯一の施設整備に着手



<アーバンスポーツ(BMX)>

新福岡武道館の建設を推進 26億8,830万7千円 (1億2,357万8千円)

- ・ 武道の拠点となる新福岡武道館の実施設設計及び建築工事を実施

ふくおか健康づくり県民運動を推進 3億3,156万5千円（2億4,438万3千円）

- ・【新】有名料理研究家等による「減塩レシピコンテスト」の開催や、最優秀レシピをもとに開発された減塩弁当の大手量販店での販売など、「スマート ソルティングプロジェクト」を推進
- ・【新】ふくおか健康ポイントアプリのリニューアルやアプリポイントで「あまおう」などの県特産品が当たる抽選会を実施
- ・市町村が開催する健康教室（ケア・トランポリン）を支援



＜ケア・トランポリン教室＞

新 特別支援学校にケア・トランポリンを導入 457万6千円

- ・県立特別支援学校小学部において、体力増進のためのケア・トランポリン教室を開催

文化芸術の振興

新 子どもたちに公立美術館等の無料鑑賞機会を提供 1億4,330万2千円【P5再掲】

- ・コロナ禍を越えて小中学生が文化芸術に触れる契機となるよう、令和5年度に限り、県立・市町村立の美術館・博物館等の常設展を無料化

新 県立美術館の建設を推進 2億2,215万円（3,445万6千円）

- ・文化芸術の拠点となる新県立美術館の基本設計等を実施

新 日本遺産「古代日本の『西の都』」の魅力を発信 2,612万円（3,146万9千円）

- ・【新】「西の都」の魅力を伝えるサブストーリーを構築し、HPで公開
- ・【新】太宰府天満宮入口にPRコーナーを開設するとともに、水城跡などに解説案内板を整備



「西の都」構成文化財
（大宰府政庁跡）

新 九州芸文館10周年イベントを開催 697万2千円

- ・開館10周年を迎える九州芸文館において、地域の文化資源を活かした体験イベントを開催

世界に向けた発信と交流の推進 "FUKUOKA IS OPEN"

新 「世界から選ばれる福岡県」の実現に向けた取組を推進 4,207万8千円

- ・ 本県の教育や医療など外国人向け生活関連情報を始め、留学生、インバウンド、国際金融機能の誘致やスポーツ、環境、ワンヘルスなど先進的施策に関する情報、在住外国人の活躍を世界に向けて一体的に発信するポータルサイト「FUKUOKA IS OPEN」を開設



新 本県の強みを活かした国際交流を促進 1億2,890万9千円

- ・ 将来的な水素受入を目指した関係構築等のため、ニューサウスウェールズ州への産学官の訪問団派遣・受入を実施【P11一部再掲】
- ・ ワンヘルス推進を担う人材育成等のため、ハワイ州への訪問団派遣・受入を実施【P20一部再掲】

地域の活力の創出

新 近未来MaaS※ 福岡モデルを創出 1億1,538万7千円

- ・ 交流人口の拡大により、日常生活の移動手段である地域公共交通を守るとともに、地域経済の活性化を図るため、MaaSを活用し、様々な交通データを分析・可視化するプラットフォームを構築
- ・ 市町村や交通事業者等と連携したMaaS実証実験を実施

※ マース（Mobility as a Service）
ICTを活用し、複数の移動手段を最適に
組み合わせたサービス



新 賑わい愛されるふるさとの川づくりを推進 1億2,000万円

- ・ 県と連携して市町村が行う魅力あふれる河川空間を形成するための照明や水上デッキ等の整備を支援

移住・定住を促進 1億8,313万9千円（1億4,242万4千円）

- ・ **【新】** 市町村と連携して農林漁業や地場産業など特色ある就業体験の場を掘り起こすとともに、**居住・就業・交流体験が一体となったプログラム**を作成し、移住希望者向けに提供
- ・ **【新】** 本県と移住促進の取組を協働して行うパートナーシップ協定企業等のテレワークによるワーケーションや移住体験の取組を支援
- ・ IT、医療福祉、農林漁業の人材不足分野に就業する移住者に対する支援金の移住元要件を三大都市圏以外の県外在住者にも拡大
- ・ 子育て世代への移住支援金を拡充（18歳未満の子1人につき100万円加算）



空き家活用の相談体制を強化 3,451万円（3,931万2千円）

- ・ 空き家所有者等が安心して活用・処分方法の相談ができるよう、**空き家活用サポートセンター「イエカツ」**において専門家による相談を実施
- ・ **【新】** 専門的な相談が可能な宅建事業者等を市町村窓口のサポート事業者として登録

新 水道事業の広域化を推進 518万7千円

- ・ 水道広域化推進プランに基づく水道事業者間の広域化に向けたブロック別検討会を開催
- ・ 各ブロックの代表水道事業者が行う広域化に関する調査を支援